
皆瀬川、春川本谷

U 日程 9月23日(金)～9月25日(日)

U メンバー 小林、向井、菅野

春川本谷は3回目の挑戦。秋田は天気の良い筈と思って出かけたが台風の進路が大きく変わってしまった。この3連休でこの時間帯でしか遡行できなかったと思われる程幸運に恵まれ3回目の正直となった。私にとっては今年初めての泊まりの本格的な沢のぼりとなる。そして今年最後の沢のぼりとなるだろう。

9月23日(金) 快晴

朝7時に大湯温泉に到着、だが大雨で外に出る気分になれない。車の中で皆、睡眠をとる。11時に外が明るくなり出発の順備。本日は行けるところまでと思って出かける。軌道跡の林道を歩いて虎毛沢出合に着く。増水で結構な水量になっていた。三滝は十字狭のように3方向から滝を持って合流している。亀甲模様のナメは不思議な幾何学模様が美しい。万滝沢まで15分程の場所で焚き木も豊富な絶好の幕場があって行動を打ち切る。



大湯温泉 11.30—虎毛沢出合 13.25/13.50—幕場 16.50



9月24日(土) 曇り

万滝沢出合を過ぎると沢が面白くなる。少し泳いで樋状の滝は関東周辺の沢の本に写真が掲載されている所。滝がこれでもか、これでもかと続く。ダイレクトクーロアールの出合を過ぎると80mの大滝。なかなかの高度感である。やっと傾斜がゆるみキツイ藪漕ぎで虎毛山避難小屋に到着したのは午後5時20分を回っていた。貸切の小屋をありがたく使わせて頂く。夜になると強い雨となった。難しい滝はすべて登攀隊長の向井さんが担当してくれてタイムロスはなくてもこのタイム。時間としても「いっぱい いっぱい」の厳しい沢であった。小屋のノートにはトマの方の記録が残っていた。

幕場 7.00—ダイレクトクーロアール出合 10.40—大滝中段(昼食) 12.10/12.30—虎毛山避難小屋 17.22

9月25日(日) 強い雨

当初の予定は虎毛沢の下降を中止して赤倉橋に下山した。赤倉沢は大増水。もし沢にいたら大変だったろう。タクシーで大湯温泉に戻りゆっくりと温泉に入って帰宅した。往復 **1100** km でえらく遠い。こんなに素晴らしい沢がもう少し近ければいいのと思う。初めての泊まりの沢で下山後、左膝が痛くなってしまった。

避難小屋 8.45—登山口 10.50—秋の宮温泉
11.30

(こばやし よしお)

